

ベトナムにおける地域医療情報ネットワーク導入可能性ヒアリング調査

ベトナム保健省（Ministry of Health : MOH）は「保健医療分野の5カ年計画」（Five-year Health Sector Development Plan 2011-2015）の中で、保健医療情報システムの開発等を打ち出している。また、ベトナムMOHは国立病院が省病院を教育指導するサテライト病院プログラムを2013年から実施しているほか、国際協力機構（Japan International Cooperation Agency : JICA）は省・郡レベルの病院とコミュニティヘルスステーションまでのリファラルシステムの構築に取り組んでいる。このようにベトナムでは、情報通信技術（Information Technology : IT）を活用して医療機関間における医療情報の交換を活発化する地域医療情報ネットワークに対する必要性が高く、地域医療情報ネットワークを推進する政策・政府開発援助（Official Development Assistance : ODA）の取組も進んでおり、地域医療情報ネットワークの導入可能性は高いと考えられる。

そこで、ベトナムにおける地域医療情報ネットワークの導入の方向性を検討することを目的として、**地域医療情報ネットワークに求められるサービスや導入に向けた取組等を尋ねるヒアリング調査を実施**した。なお、ベトナムにおける地域医療情報ネットワークの導入に関するヒアリング調査は、地域医療情報ネットワークに関する政策の企画立案を行うベトナム**MOH**と、サービスを利用する**医療機関**、導入に向けた支援を行う在ベトナム**日本大使館・JICAベトナム事務所**を対象とした。ベトナムにおけるサービスを利用する医療機関としては、サテライト病院プログラムに基づき、ベトナムMOHから推薦を受けたK病院と国立小児科病院を中心に取り上げた。また、ベトナムにおける地域医療情報ネットワークの導入に関するヒアリング調査では、調査対象にアンケート調査票を事前に送付して効率的な聞き取りを行った。

（以下、ヒアリング結果詳細は省略）